

「健康寿命を延伸するにはどうすればよいか」、
「現在介護を受けている方の生活の自立を促し、
介護の負担を軽減するにはどうすればよいか」について
職種間の連携を進め、千葉県全体で高齢者を支えていきましょう



県民公開講座

最期まで家族と食卓を囲み、
おいしいもの、
好きなものを食べて、
笑顔で感謝を述べたい

入院しても退院したら
また元気に過ごしたい

最期まで
元気に過ごしたい



[事前申込制]

無料

定員200名

【日 時】

2020年

1月26日 (日)

午前9時30分～12時30分

【会 場】

京成ホテルミラマーレ

「6階ローズルーム」

〒260-0014 千葉県千葉市中央区本千葉町 15-1 TEL/043-222-2115

【第1部】9:30～12:00

講 I 演

「お口の健康の大切さ～食生活を楽しみ、全身の健康づくりを～」
宮原 勇治 氏 (厚生労働省医政局歯科保健課 歯科口腔保健推進室 室長)

講 II 演

「超高齢社会を支える「入れ歯」の役割」
河原 英雄 先生 (歯科医師、医学博士)

講 III 演

「自立支援－歯科は高齢者に大変なことをしていた」
竹内 孝仁 先生 (国際医療福祉大学大学院 教授)

【第2部】12:00～12:30

「口腔ケアと歯科との連携、保険加算請求について」

※施設関係者・職員のみ対象

千葉県歯科医師会では、平成30年度より介護予防事業の一環として
「8029運動」を提唱しています。80歳になっても肉(良質なたんぱく質)を
積極的に摂取して元気な高齢者を増やしていこうというものです。

8029運動は、内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局が
推進する「beyond2020 マイベストプログラム」の認証を受けています。

【主 催】



一般社団法人 千葉県歯科医師会

beyond
2020

BE MY BEST

講 I 演



宮原 勇治
(厚生労働省医政局歯科保健課
歯科口腔保健推進室 室長)

「お口の健康の大切さ～食生活を楽しみ、全身の健康づくりを～」

人生 100 年時代を迎える中、国民の全てが健康で活躍できる社会の実現が求められています。そのためには、お口の健康づくりがたいへん重要なものとなっています。お口の健康は、食生活等の QOL に大きく影響し、また、近年は、糖尿病などの全身の健康にも影響することが明らかになってきています。厚生労働省の調査では、80 歳で 20 本以上の歯を保つ高齢者が 50% を超えました。健全な歯を残し口腔機能を維持するためにはどのようにすればよいのでしょうか。本日の講演では、お口の健康づくりのための行政の取組の紹介をしつつ、地域のみなさんがお口の健康を保つためには、日頃からどのようなことに取り組めばよいのかについてご紹介します。

講 II 演



河原 英雄
(歯科医師、医学博士)

「超高齢社会を支える「入れ歯」の役割」

「入れ歯」というものに、皆さんはどんな印象をもっておられるでしょうか。明るい肯定的なイメージをもっている方は、おそらく一人もいらっしゃらないでしょう。入れ歯は、老化の代名詞のようなものです。皆さんにとっては、これは当たり前のことですが、歯科医師として半世紀を生きてきた私は、この入れ歯の不名誉な評判を唯々諸々と受け入れるわけにはいきません。

幸いにして、その入れ歯は、年寄りに食べる喜び、自信に溢れた顔で人前でしゃべり、快活に笑う喜びを回復できる、魔法のような働きをもっているのです。しかも、食べることをすっかり諦めていたような人が、わずか 1 時間で若い自分を取り戻すのですから、歯科医師としてこれほど美味しい仕事はありません。その事例をいくらかでもご紹介することができます。

年をとると入れ歯になる。入れ歯になったら、好きなものも食べられない、人といっしょに食事はできないという誤解が根深いため、私は過分な感謝を受けることになっています。いま、この喜びを若い歯科医師たちと共有するために、老いを顧みず全国を駆け回っています。幸いにして、若い経験の浅い歯科医師たちが、「こんな患者さんに感謝されたのは初めて」と喜びの報告をしてくれます。入れ歯で、年寄りバンザイなのです。

講 III 演



竹内 孝仁
(国際医療福祉大学大学院 教授)

「自立支援—歯科は高齢者に大変なことをしていた」

歯と口腔の健康が全身の病気や認知症の発生率などと関係があることは知られていた。リハビリなんかしなくても義歯を正しく調整し、ふつうの食事がとれるようにするだけで驚いたことに“歩けるようになる”高齢者が続々と生まれてくる。

“寝たきり高齢者はリハビリセンターに行く前にまず歯科クリニックに行け!” 最近では私はこのように呼びかけている。こういう驚異的現象をもたらした元祖は云うまでもなく「河原英雄先生」とその門下の千人を超えようとする新しい歯科医グループである。自立支援介護をつくり上げ、国の介護保険の柱となった今では、新たに歯科の驚異的力に注目が集まっている。「咀嚼」「脳幹網様体」「大脳皮質」と結ぶ、歯科が活性化した神経メカニズムを紹介したい。

お問い合わせ

一般社団法人 千葉県歯科医師会
TEL043-241-6473/FAX043-248-2977

千葉県歯科医師会では、平成30年度より介護予防事業の一環として「8029運動」を提唱しています。80歳になっても肉(良質なたんぱく質)を積極的に摂取して元気な高齢者を増やしていこうというものです。

県民公開講座 (1/26) 受講FAX申込書

千葉県歯科医師会 8029・健康寿命延伸事業 宛

FAX 043-248-2977

所属			受講者名	(ふりがな)	(職種)	
				(氏名)		
TEL.		FAX.			(ふりがな)	(職種)
					(氏名)	
所在地					(ふりがな)	(職種)
					(氏名)	
			(ふりがな)		(職種)	
				(氏名)		

令和2年1月17日(金)までに千葉県歯科医師会事務局までお申込ください。

※ご記入頂いた情報は、千葉県歯科医師会からの各種連絡・情報確認のために利用するほか、セミナー参加者の統計・分析に利用することがあります。